



一九七七年のヌプツェ北西稜登山隊ベースキャンプから
見えた奇妙な形の大岩。
高さは五〇メートルぐらいだったろうか。
おしどりのように見えるが、頭部は馬。
登山隊は四〇日間無事だったので、あれは真に守護神だった。
クーンブ氷河のあの奇岩は今も在るのだろうか。